

ツマジロクサヨトウによる 農作物(スイートコーン)への被害を初確認しました ほ場を見回り、早期発見・防除に努めましょう

- ・県南部で栽培されているスイートコーンで8月17日にツマジロクサヨトウの疑義幼虫が発見されました。農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、8月18日にツマジロクサヨトウであることが確認されました。
- ・これまで県内では、フェロモントラップにおいてツマジロクサヨトウの雄成虫が確認されていますが(『特殊報第1号(令和2年8月12日発行)』)、本種幼虫による農作物への被害の確認は初めてとなります。
- ・幼虫の食害は、草丈70cm程度のスイートコーン(未成熟とうもろこし)の若い葉で多く(写真1)、幼虫は展開する葉の隙間で確認されました。
- ・ほ場をよく見回り、幼虫の食害痕や虫ふんなどの有無を確認し、早期発見と防除に努めてください。

防除のポイント

(1) 早期発見

ツマジロクサヨトウは軟らかい葉を好んで加害します。生育初期に食害されると被害が大きくなるため、ほ場を定期的に見回り、幼虫の食害痕や虫ふんなどの有無を確認し、早期発見に努めましょう。

(2) 早期防除

発生ほ場では、農薬リスト(表1)を参考に農薬による防除を実施してください。散布にあたっては、新葉の葉しょう基部に潜り込んでいる幼虫に届くようしっかりと散布してください。

老齢幼虫になると農薬の効果が低下するため、可能な限り、若齢幼虫のうちに防除してください。

なお、周辺作物への農薬の飛散(ドリフト)には十分注意してください。

(3) 農薬による防除が困難な場合

被害の拡大や分散等を防止するため、速やかにすき込みを実施してください。すき込みの実施にあたっては、幼虫やさなぎを破砕、または土中深く埋設するように、土の表面に作物が見えなくなるまで(深さの目安12cm以上)2回以上行ってください。

(4) 収穫後の対応

発生ほ場では、収穫後に残った株や土壌中に幼虫やさなぎが残存している可能性があるため、収穫後は速やかに複数回の耕うんを行ってください。

ツマジロクサヨトウは、スイートコーン以外にも、飼料用トウモロコシやソルガムなど広範囲な農作物を加害しますので、ほ場をよく見回り、幼虫の早期発見に努めましょう。
本虫と疑われる幼虫を発見した場合には、農業改良普及センターまたは病害虫防除所に御連絡ください。



写真1 スイートコーンの被害葉



写真2 ツマジロクサヨトウ幼虫



写真3 幼虫の特徴1:頭部の「逆Y字」紋



写真4 幼虫の特徴2:尾部の黒斑

表1 ツマジロクサヨトウの薬剤防除に使用できる農薬一覧(未成熟とうもろこし)

※表の農薬は、現在のところ、ツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うための農薬として使用できます。記載されている希釈倍数、使用方法、使用時期、散布量、回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数・使用量	使用回数
BT水和剤 (19616,19618,19899, 21694,21695,23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1,000倍	—
BT水和剤 (19885,20653,21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2,000倍	—
BT水和剤(14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1,000倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1,000倍	4回以内
NAC粒剤	散布	雄穂抽出期～雌穂抽出期 但し収穫21日前まで		4～6 kg/10a	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1,000倍	4回以内
エトフェンブロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1,000倍	4回以内
エトフェンブロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1,000～ 2,000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1,000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均一に散粒する	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2,000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2,000倍	3回以内
クロルフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2,000倍	2回以内
シベルメリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3,000倍	3回以内
シベルメリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1,000倍	3回以内
シベルメリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1,000～ 2,000倍	3回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1,000倍	2回以内
フィプロニル水和剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2,000倍	2回以内
フェンバレレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1,000～ 2,000倍	4回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2,000～ 4,000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4,000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2,000～ 4,000倍	2回以内
ペルメトリン乳剤	散布	収穫14日まで	100～300L/10a	2,000倍	4回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1,000～ 2,000倍	3回以内
レピメクテン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1,000倍	3回以内

※1 令和2年8月12日現在の登録内容。実際の農薬散布にあたっては最新情報を確認してください。

農林水産省HP「ツマジロクサヨトウの薬剤防除に使用できる農薬一覧」

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8960 FAX:022-276-0429 E-mail:byogai@pref.miyagi.lg.jp

農薬危害防止運動実施中！（6月1日～8月31日まで）